



霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>

E-mail: y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校（小学校）
平成 27 年度通算第 220 号
平成 28 年 1 月 7 日発行
児童数 664 学級数 22

一年の計は元旦にあり～めあて学習



准校長 宇都宮 桂

新年あけましておめでとうございます。

昨年はいろいろな場面で学校へのご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者や地域みなさまにお力添えをいただき、子ども達は大きく成長することが出来ました。本年もみなさまのお力をお借りすることになるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいます。一年間の目標や計画は、年の初めである元旦に立てるのがよいということです。また、物事を始めるには、最初にきちんとした計画や準備をすることが大切だという意味でもあります。そこで、一年のスタートというこの節目に、子ども達には、めあてを立ててほしいと願います。

ところで、小学校では平成 33 年から学習指導要領が改訂される予定ですが、今後 10 年、15 年の間に社会が大きく変化するであろうことを予測し、その変化に対応出来るとともに、自分達が生きていく社会を、自分達で創造していく人材が求められるととらえています。そのためには主体的に学習に取り組む態度や、自ら物事に働きかけて解決していく力が必要とされます。そこでは、教師による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法「アクティブラーニング」の充実が効果的だと言われています。

すでに、小学校や中学校では多くの授業で「めあて学習」や「問題解決学習」等、能動的な学習が取り入れられています。めあて学習や問題解決学習は、授業の学習課題や子ども一人ひとりの力のあった学習のめあてを立て、主体的に解決しながら学習を進めていく方法です。また、学習に限らず、係や当番活動、クラブや委員会活動等でも、活動や一人ひとりの役割に応じてめあてを立て、取組を進めています。長所を伸ばし、足りないところを補いながら、自分がかんばってみたいこと、こんな自分になりたいこと（新しい自分）等、めあてを立てて取り組むことは重要です。

しかし、めあてを立てただけでは、絵に描いた餅になってしまいます。自分が立てためあてを達成するために、必要な行動を考え計画的に行動していけるようにすることが大切です。めあての内容にもよりますが、保護者と学校が連携して、子どもが立てためあてに向かって計画的に行動できるよう支援していきたいと思えます。

よりすてきなスマイルきりっ子の誕生に向けて、本年も学校へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。